

大子タイムリー

◆発行 日本共産党大子町委員会 ◆責任者 佐藤 正弘

2016年1月11日 No.225 電話 77-0352

〈佐藤正弘 議会報告〉



佐藤正弘 議員

議員の仕事は、町政のチェック 町民の声を議会に届けること

室は、専従者一名の配置で農産物をはじめとした、販路拡大をはじめ、地域資源の活用をめざす取り組みとしては不充分であります。

鳥獣被害対策では、「免許を

二〇一五年の一般質問

第一回(三月)定例議会

三月議会は、一年間の事業や予算を決定する重要な議会である。町の主要産業である農林業について、主な施策、

友会の方々と調整を進めていく」と答弁しています。

観光地としての景観保全がまさに必要だと思う。道路に面したところの草刈り、支障木の伐採等の補助事業なども予算を計上している」と答弁しています。しかし、特産品販売

持った専従職員を配置することが理想であるが、今後、猶豫なく」と答弁しています。

私は、「観光地として景観保全がまさに必要だと思う。道路に面したところの草刈り、支障木の伐採等の補助事業なども予算を計上している」と答弁しています。

又、政府の集団的自衛権行使容認の閣議決定後、動き出します。町長は、特産物販売室の設置など「それなりに充実した予算を計上した」と答弁しています。しかし、特産品販売

第二回(六月)定例議会

国会で、審議が行われている安保関連法案についての質

問では、町長は、「安保関連法案が国会で審議されていることは承知している。国政に関する質問に、この場で答弁することはできない」と答弁しています。町は自衛隊の業務

連法が施行されれば真っ先に

自衛隊が派遣されます。

道路網の整備について、町長は、「道路整備について積極的に取り組んでいるところであり、今後の地方創生戦略に

おいて大きな柱となる」と

答弁しています。

町有財産の活用では、裁判

で

町の所有が確定した八溝山

第三回(九月)定例議会

七月の全員協議会で、町木場および木質バイオマス発電施設予定地として使用したい

施設予定地として使用したい

戦争法廃止の国民連合政府の実現を

—日本共産党の提案—



戦争法廃止を求めて参加しました（8月常陸大宮市）

団体的自衛権行使容認は、自衛隊が海外での武力行使に道をひらき「戦争する国」へと変えるもので、一刻たりとも放置できません。

日本共産党は戦争法廢止の一点で、一致するすべての政党、団体、個人が力を合わせ「国民連合政府」をつくる事をよびかけています。

（つづき）
～ 案轉し対応 共闘～
「四区の小選挙区すべてで新基地建設反対勢力が自民党など基地推進勢力を打ち負かしました。

力を行使し、思想、信条の違い、政治的立場の違いを乗り越えて力を合わせ、安倍自公政権を退場させ、立憲主義、民主主義、平和主義を貫く新しい政府をつくろうではあり

提案内容	1、戦争法 権打倒	2、戦争法 させよ	3、国民連 党・團
ませんか。 協力を 野党が			

止、安倍自公政
闘いを更に発展
が止で一致する政
個人が共同し
政府を作ろう

私はかえつて質問の方に疑問に思う。」と答弁しています。今の大子町にとって企業誘致は最大の課題で町民誰もが認めるものです。しかし、町民に信頼される町政を実現するためには、条例を遵守するどころか、企業誘致が条例に優先されると受け止められる答弁をしています。

町民が最も不安を抱く放射能、交通、環境問題、町のメリットについて、町長は「放射線量は、事前に測ったうえで対応する。交通への影響はなし。メリットとして、約一人程度の雇用、原料を提供する事業者には販売先が広がり、人が増える。山林地主にも大

第四回(十二月)定例議會

周供。來し、いさぎ
で減供す。調調
で減供す。協議
で減供す。質問
で減供す。公表
で減供す。益に
控えらるのり、
な一

どとしています。しかし、町などの公共の契約は公開が原則であります。又、だいご再生可能エネルギー協議会は、倫理条例の公共的団体に当たらないのではという質問に対し、「ひとの集まりであつて利益を配分しない。業界の底上げのために使う。そういう団体は公共団体である。」と答弁しています。しかし、前議会の企業誘致のメリットとしてあげられている「原料を提供する事業者には販売先が広がり収入が増える。」と答弁しているように利益を追求する一般企業と何ら変わりがないように思えます。

一期目の町長就任時、独善的で人の話は聞かないという町民から指摘されていた様に町のリーダーとしてふさわしくない言動が早くも現われています。

一般質問の答弁でも明らかのように、質問内容以外の自説の展開や議会基本条例の趣旨を逸脱した、反問を繰り返すなど目に余るものがあります。

人口減や過疎化を憂い、子育て支援や医療・福祉・教育など県内外に誇れる政策を掲げ実施しているのも事実であります。

町の再生を最も重要な課題としてあげられているいま、

安倍政治を許さない！ 戦争法廃止 力を合わせて
町長は町民や議員の声に率直に耳を傾けてほしいのです



こばやし こ (参議院
茨城選挙区)
小林きょう子

「憲法解釈を変えて戦争できる国にするなんてひどい！」「米価暴落の対策もないままＴＰＰ大筋合意はない」と怒りと悲鳴がきこえます。平和や民主主義、個人の尊厳が破壊されようとする時、国民連合政府の呼びかけは多くの国民の皆さんと共有できます。なんとしても日本共産党を伸ばし、茨城にも必ず国會議員をと頑張ります。（茨城選挙区予定候補）

町民アンケート中間報告

